

令和7年 7月11日

保護者の皆様へ

人間環境大学附属岡崎高等学校
校長 横山 博文

「花便り」 第6号

盛夏の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じ上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

7月の花と言えば、なんといっても私は燃えるようなオレンジの色が鮮やかな、ノウゼンカズラを思い浮かべます。太陽が小間切れになって地上に散ったかのような、その鮮やかなオレンジ色は、暑苦しさを乗り越えて、すがすがしいまでの鮮烈なオレンジの光を放っていて、ふと暑さを忘れさせてくれるほどです。ノウゼンカズラの花がこぼれ落ちるように咲く光景に出くわすと、思わず足を止めて見入ってしまう自分がいます。

さて、先週7月5日の土曜日には、今年度3回目となるオープンスクールを開催し、42組80名の中学生と保護者の参加を得ることができました。第1回目の5月「ダンス部体験会」、第2回目の6月「リアルドラゴン桜プロジェクト」に続く、今回は「シン探究」と「スポーツ進学コース」をテーマに開催しましたが、岡崎市内はもとより、参加者のうち3分の1は市外からの参加者となり、関心の高さを感じることができました。参加してくださった中学生・保護者の皆様、本当にありがとうございました。終了後、複数の保護者の方から、「今の時代に合った改革で素晴らしい」「子供たちのことを第一に考えてくれている改革が良い」など、好意的に受け止めてくださっているお言葉を頂き、とても嬉しく思いました。この流れが、更に8月のオープンスクールに繋がることを願っています。

学校は、慌ただしくも充実した1学期の終わりを迎えようとしています。その締めくくりの行事として、来週より保護者懇談会が始まります。3年生は進路の最終確認として、1・2年生は1学期を振り返り、頑張ったことや改善すべき点、夏休みの過ごし方や2学期からに期待することなど、盛りだくさんの保護者会になることと存じます。また、多くの保護者の方が、今年度初めて担任と顔を合わせて話す機会となることから、相互の信頼関係の構築と、円滑な協力体制が結ばれるきっかけとなることを願っています。叶うことなら、お一人お一人の保護者の方に、1学期のねぎらいの言葉を掛けさせていただきたいのですが、叶わぬことゆえ、本号にて、感謝とねぎらいの言葉に代えさせていただきます。

「1学期間、本当にありがとうございました。ご苦勞様でした。」